

変流器の JCSS 校正

JCSS 校正証明書は、IATF 16949、UL 規格及び各種安全規格に対応できます。
校正結果は、ILAC/APAC の MRA（相互承認）を通じて、国際的に受け入れられます。

■ 対象測定器

大電流から小電流までを、安全に、精度良く測定することは大変な作業です。
このため、電流の測定は、変流器(CT)を用いて取り扱いが容易な電流に変換（変成）し
計器との組合せで測定する方法が用いられます。

CTは、絶縁が優れていること、変成比が正確であることが重要です。



■ 校正範囲及び不確かさ

校正条件	電流（定格一次電流）	校正の不確かさ($k=2$)
周波数 50 Hz、60 Hz 二次負担 50 VA~5 VA(5 A) 二次負担力率 1	200 A ~ 0.1 A	比誤差 0.02 % 位相角 0.6 分
	4 000 A ~ 200 A	比誤差 0.02 % 位相角 0.9 分

校正の不確かさは、校正範囲で一番小さいものを記載しています。

■ 校正のご利用方法



日本電気計器検定所 中部支社 標準課



〒487-0014 愛知県春日井市気噴町三丁目5番地7

TEL : 0568-53-6336 FAX : 0568-53-6337

E-Mail : kousei-cub@jemic.go.jp URL : <https://www.jemic.go.jp>